

松くい虫抵抗性アカマツ「ひょうご元気松」の抵抗性を向上させるために

森林林業技術センター 資源部 塩見晋一

【背景・目的】

・年々減少する松くい虫防除事業費 ・松くい虫年間被害量:約1万m³ ・環境に優しい(農薬に頼らない)防除の推進 → 抵抗性マツ「ひょうご元気松」活用の期待が高まる。

・「ひょうご元気松」の性能をチェックし、抵抗性レベルを向上させる。

【成果】

◎ 「ひょうご元気松」の性能調査:集団として従来のマツより高い抵抗性を示す。そのばらつきが大きい集団であることが判明。

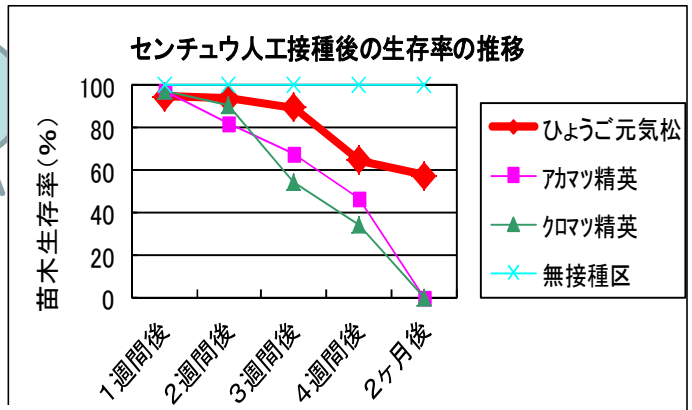
◎ 兵庫県下から病原性の高い線虫を分離し、人工接種検定に使用した。

◎ 現存する抵抗性アカマツ採種園構成母樹の抵抗性ランキングを明らかにし、採種園改良指針(導入・廃棄系統)を作成し、抵抗性向上を図る。

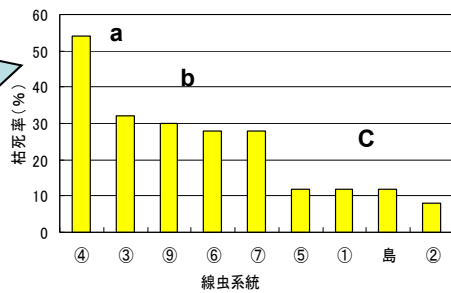


温室内での線虫人工接種

ひょうご元気松の性能



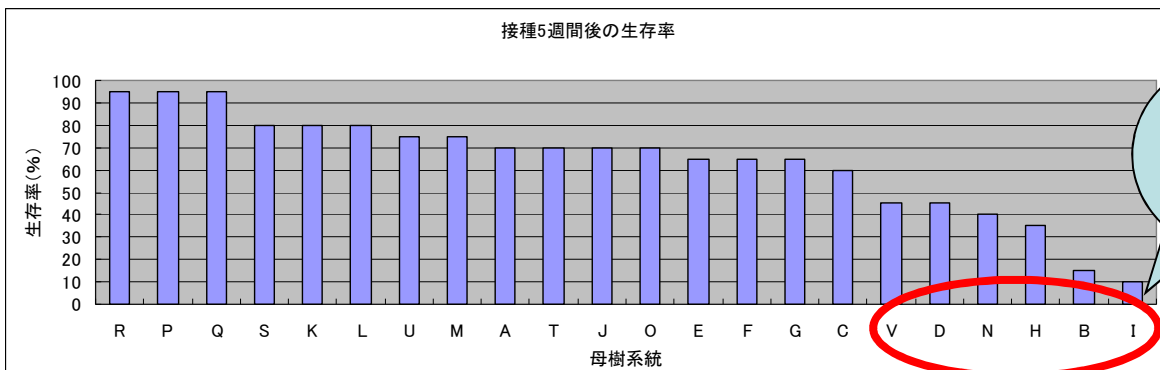
県下に分布する線虫の病原性比較



採種園構成母樹系統の抵抗性ランキング



母樹系統ごとに養成した実生苗 → 線虫接種検定



採種園から除去

【成果の活用】

判明した抵抗性ランキングを基に採種園構成系統の絞り込みを行い、抵抗性の高いアカマツの種子供給に活用する。

農薬に頼らずに健全なマツ林を維持育成する。